

ふつうの人ほど素晴らしいのだから。



火の国阿蘇の
恵みのブランド

阿蘇
zen
A s o C i t y

阿蘇神社は肥後国一の宮、それにちなみ町の名前も一の宮。その一の宮をもっと美しくするために活動しよう。という会を結成したのが平成十年。

一の宮の「みや」、美しくの「び」。

「+1」は、おおげさなことはできないけれど、なにかひとつ、の意か。「ふつうの人ほど素晴らしいのだから、

その人びとの力を出し合って……」

とにかくやれることをやろうと、森下幸美さんが中心となって始めた。フリーマーケットを開催し、わいわい交流の場を広げた。

津軽三味線やジャズのコンサートを開催し、人のこころを惹きつけた。活動はさまざまだが、現在の中心は石鹸づくり。

阿蘇の水と、油と、そしてみかんの皮による

環境にやさしい石鹸を主婦感覚でせっせと作り、広めていく。

街の、人の、いろいろな宝をむだにしない、

それがつまりプラスワンです。

みやび+1 森下幸美

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。